

MONTHLY

# 神變別冊

宗派だより

令和6年7月号

醍醐寺開創

150年

令和六年七月六日発行  
発行所 真言宗醍醐派宗務本庁  
京都市伏見区  
醍醐東大路町二十二

電話 〇七五―五七―一〇〇〇二

FAX 〇七五―五七―一〇〇〇二

## 今月の掲載内容

- ・ 総本山醍醐寺第四百四世座主 壁瀨宥雅大僧正「晋山式」を挙行 1
- ・ 録事 2
- ・ 宗派だより 3
- ・ 末寺・教会・醍醐寺だより 3
- ・ 本庁からのお知らせ 3
- ・ 醍醐寺からのお知らせ 3

## 総本山醍醐寺第四百四世座主

### 壁瀨宥雅大僧正「晋山式」を挙行

総本山醍醐寺第四百四世座主壁瀨宥雅猊下の晋山式が、去る五月三十日総本山醍醐寺にて営まれた。

当日は、三宝院「勅使の間」「秋草の間」を集会所に、壁瀨座主猊下のもと職衆を務める醍醐寺顧問・醍醐派宗会議員十二名が参集。ご披露がなされた後、吹螺を先頭に、午前十時四十五分に三宝院唐門より進列。仁王門を経て金堂に到着。堂内には、真言宗長者・総本山仁和寺門跡瀨川大秀猊下をはじめ真言宗各派総大本山の猊下や重役の他、法縁深い東大寺や真如苑、壁瀨座主猊下御自坊で醍醐寺塔頭・理性院の檀信徒など約百六十名余りが来賓として参座。午前十一時より壁瀨座主猊下のもと晋山奉告法要が営まれた。

法要は、醍醐寺ご本尊・薬師如来坐像のご宝前で前讃の後、壁瀨座主猊下が座主としての決意を示した表白を奉読。理趣経、後讃、

諸真言が唱えられた。

法要終了後、壁瀨座主猊下は別座に移動。真言宗長者の瀨川仁和寺門跡の祝辞、続いて祝電が披露され、最後に、壁瀨座主猊下が謝辞を述べて金堂での法要・式典を終了。壁瀨座主猊下一行は三宝院へ還列。奉告法要を無魔成満した。

続いて、京都市下京区にあるリーガロイヤルホテル京都に移動。午後一時三十分より「春秋の間」にて奉告法要の参座者をはじめ関係者ら約四百名が出席。壁瀨座主猊下が団長を務められている一音寺室内合奏団メンバーによる祝演。続いて、真言三宝宗大本山清荒神清澄寺法主坂本光謙猊下、京都市長松井孝治氏、総本山醍醐寺顧問・真言宗醍醐派宗会議長の岩鶴密雄僧正の祝辞。それを受けて壁瀨座主猊下の挨拶。鏡開きとなった。その後、株式会社日本経済新聞社代表取締役社長・長谷部剛氏の乾杯。祝電披露の後、総本山醍醐寺執行長・大原弘敬僧正の謝辞にて祝賀会を終了した。



録事

▼宗務所移動

四月一日 任山形南部宗務所所長 瑞光寺  
任山形南部宗務所副所長 南光院  
任山形南部宗務所代議員 歎喜院  
常福院

▼教師補任

本宗籍 四月三十日 大律師 愛媛 池上健龍  
藤村水青

▼僧階昇補

本宗籍 四月二十一日 大僧正 北海道 佐々木康勝  
大僧正 北海道 黒岩聖款  
四月二十六日 大僧正 北海道 黒岩聖款  
権少僧都 北海道 地山孝胤  
五月十五日 権中僧正 北海道 地山敬胤

▼住職・主管者任命

四月二十五日 高知(直) 遍照寺 中村亮祥  
五月一日 高知(直) 遍照寺 中村亮祥  
山口 大聖院神原教会(代)福森 慈大  
(代)藤里 隆

▼住職・主管者退任

四月二十五日 高知(直) 遍照寺 森界祥

▼責任役員任命

四月二十五日 高知(直) 遍照寺 森瑞祥  
五月一日 兵庫 寶喜院 田中洋子  
今井純一郎  
岡田暢瑞  
福森勇規

山口 大聖院神原教会 村田光淳  
大聖院神原教会 村田光淳

五月七日 静岡 快長院 山口恒子

五月十日 神奈川(直) 大明王院 木所和子  
木所仁道  
木所真紀  
木所章

五月十二日 北海道 天神山清瀧寺 山下正純  
三浦広志

五月二十日 北海道 弘法寺 黒岩恵子

▼総代委嘱 四月二十五日 高知(直) 遍照寺 森教泉  
森こずゑ  
森雪江

五月一日 兵庫 寶喜院 中井和司  
山本健巖  
藏本

山口 大聖院神原教会 上野和子  
上野裕子  
中村孝嗣  
上野博嗣

五月十二日 北海道 天神山清瀧寺 高田実  
山本善弘  
沖本昭二  
横山榮子  
柄多梯

五月二十日 北海道 弘法寺 池上博文  
黒岩文子  
齊藤忠義  
加藤裕

山形北部 婦命院 齊藤忠義  
加藤裕

▼褒章下付 六月一日 新潟 萬覺院 故川正純  
保科浄

▼承認・証明 五月三日 奈良 大峰山寺住職 岡田悦雄  
代表役員任命書、資格証明書下付の件

五月二十日 大阪 細川瑞峯  
僧籍復籍承認の件

五月二十五日 東京 二瓶聖卓  
僧名変更承認の件(「聖卓」から「芳聖」へ変更)

▼俗先達補任

五月十日 権少先達 千葉 永井大策  
権少先達 愛知 中村鳳秀  
権少先達 大阪 有村光司

令和六年 告示第二号

真言宗醍醐派一般

宗教法人真言宗醍醐派規則第二章第六節及び同宗制第三章第六節の規定により、来る七月二十六日臨時宗会を宗務本庁に招集する。会期は一日間とする。右記、告示する。

令和六年七月六日

真言宗醍醐派管長 大僧正 壁瀬宥雅

醍醐寺国宝展 Daigoji Temple and its National Treasures



会期：2024年6月15日(土)～8月25日(日)  
休館日：月曜日、7/23日(火)  
※7/15(月・祝)、8/12(月・祝)は開館  
会場：大阪中之島美術館 4階展示室  
時間：10:00～17:00(入場は16:30まで)  
<https://nakka-art.jp/exhibition-post/daigoji-2024/>

### 宗派だより

醍醐山伝法学院 第九十三回生入学式

令和六年五月七日(火)

午前十時

伝法学院

入学生四名

真言宗醍醐派全国宗務所長会

令和六年五月十三日(月)

午前十時

醍醐寺研修棟

親授式

令和六年五月二十九日(水) 午前十一時

三宝院本堂

高知県 遍照寺 中村亮祥師

### 末寺・教会・醍醐寺だより

得度式 令和六年五月九日(木)

午前十時

三宝院 弥勒堂

伝法学院生

酒井麟太郎(龍鱗)

中条真悠(真悠)

木下照顕(照顕)

高根祥希(祥希)

三宝院憲深方特別伝授

池田誠(誠光)

伏島滉将(滉将)

梶川隆修(隆修)

藤村知史(知甫)

渡部古都葉(琴如)

末寺徒弟

松井智佳子(智照)

渡部里美(聡寛)

准胝観音御開扉法要

令和六年五月十五日(水)

開白

午前十時三十分

観音堂

令和六年五月十八日(土)

中日

午前十時三十分

観音堂

令和六年五月二十一日(火)

結願

午後二時

観音堂

総本山醍醐寺第百四世座主壁瀨宥雅大僧正晋山式

令和六年五月三十日(木)

午前十一時

金堂

### 本庁からのお知らせ

#### 総務部より

宗教法人の寺院・教会は、毎年会計年度終了後四月以内に役員名簿と財産目録の写しを所轄庁(都道府県庁)に提出することとなっております(『宗教法入法』第二十五条第四項)。

この他にも、収支計算書、貸借対照表、境内建物に関する書類、事業に関する書類の写しの提出が必要となる場合があります(詳細は、真言宗醍醐派宗務本庁ホームページ又は、文化庁ホームページ参照)。

宗務本庁では、これらの書類の写しを本庁にも提出いただくことを、宗教法人並びに非宗教法人の寺院・教会にお願いいたしております。

また、寺院・教会は、適切な運営のため、当該寺院・教会規則に基づき、責任役員及び総代を置かなければなりません。責任役員・総代に欠員が生じた場合、任期満了になられた場合には、速やかに申請を行ってくださいますようお願いいたします。

#### 財務部より

六月下旬から順次、宗費賦課金の請求書及び払込取扱票の発送を行っております。お手元に届きましたら、ご確認いただき、お早めのお振込みをお願い申し上げます。銀行自動引き落としのご登録の方は、八月にお届けする予定となっておりますので、今しばらくお待ちください。

※銀行自動引き落としは、教師個人の宗費賦課金に限っております。  
※醍醐寺開創千五百十年慶讃事業義納金はじめ、各種お支払いに関するお問い合わせは、宗務本庁財務部までご連絡ください。

#### 教学部より

修験伝法教校

令和六年十月十一日(金) ～十月十五日(火)

令和六年十月十二日(土)

修験得度式

令和六年十月十四日(月・祝)

恵印灌頂

※詳細は教学部までお問い合わせください。

教学部では、さまざまな研修会のご要望を募集しております。現地での開催希望の場合は宗務所単位や、ある程度の参加人数でのご相談となりますので、是非お問い合わせください。

### 醍醐寺からのお知らせ

聖宝理源大師・開山忌法要

令和六年七月六日(土) 午前十一時

上醍醐 開山堂

第七十三回三宝院門跡葛城山蓮華入峰修行

醍醐寺開創千五百十年記念入峰

令和六年七月七日(日)

葛城山転法輪寺 入峰修行 柴燈大護摩供

第五十五回三宝院門跡大峯山奥駈入峰修行/釈迦岳・熊野三山修行

醍醐寺開創千五百十年記念入峰

令和六年七月十九日(金) ～七月二十二日(月)

令和六年七月二十日(土) ～七月二十二日(月)

醍醐寺 万灯会

令和六年八月五日(月) 午後六時

金堂

#### 伝授開庭告知

醍醐寺では本年秋に左記の伝授の開庭を予定しております。

○理性院流 太元護摩 付息災 伝授 九月に開庭予定  
伝授大阿闍梨 醍醐寺座主・三宝院門跡 壁瀨宥雅 大僧正 猊下 日程などの詳細はあらためてご連絡いたします。

○梵字悉曇伝授/坂井榮信 悉曇阿闍梨 相承 澄禅流梵字・智満流梵字 伝授/悉曇灌頂

第一会十月一日、二日開庭(全十二会予定)

伝授悉曇阿闍梨 種智院大学副学長 児玉義隆 僧正

※約三年を予定し、悉曇灌頂を開壇いたします。  
※講義はオンライン配信も予定しております。



お申し込みはこちらから→

<p style="text-align: center;"><b>和光印刷株式会社</b></p> <p>〒602-0012 京都市上京区烏丸通上御霊前上ル TEL (075) 441-5408 FAX (075) 441-4982 E-mail info@wako-print.co.jp</p>	<p style="text-align: center;"><b>杉本権七法衣店</b></p> <p>〒600-18304 京都市下京区新町通六条下ル TEL (075) 351-2890 FAX (075) 341-6774</p>	<p style="text-align: center;"><b>山城屋文政堂</b> <b>藤井佐兵衛</b></p> <p>〒600-18029 京都市下京区寺町通五条上ル TEL (075) 351-9363 FAX (075) 343-5500 http://yamasa-bunseido.com</p>	<p style="text-align: center;"><b>大住法衣店</b></p> <p>〒604-18274 京都市中京区小川通三条上ル西堂町 TEL (075) 221-3087 FAX (075) 221-3038 E-mail oosumihoi@gmail.com</p>
<p style="text-align: center;"><b>大峯山陀羅尼助丸</b> <b>花谷神変堂</b></p> <p>〒638-10431 奈良県吉野郡天川村洞川235 TEL (0747) 64-0047 FAX (0747) 64-0070</p>	<p style="text-align: center;"><b>林勘法衣店</b></p> <p>〒602-10874 京都市上京区河原町丸太町 西筋下ル東土御門町345 TEL (075) 231-2244 FAX (075) 255-6632 E-mail hayashikan@beachocn.ne.jp</p>	<p style="text-align: center;">法衣・仏具製造及び販売</p>  <p style="text-align: center;">井筒法衣店</p> <p>600-8468 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前) Tel 075-365-0001 0120-075-730 Fax 075-353-7021</p> <p>オンラインショップはこちらから →</p> 	<p style="text-align: center;"><b>田中伊雅佛具店</b></p> <p>〒600-18453 京都市下京区万寿寺西洞院東入ル TEL (075) 351-2584 FAX (075) 341-8822 http://www.tanakaiga.com</p>
<p style="text-align: center;"><b>松栄堂</b></p> <p>〒604-10857 京都市中京区烏丸通二条上ル東側 TEL (075) 212-5590 https://www.shoyeido.co.jp</p>	<p style="text-align: center;"><b>今井半念珠店</b></p> <p>〒605-10934 京都市東山区大黒町通正面南入 TEL (075) 561-0307 FAX (075) 525-2557</p>	<p style="text-align: center;"><b>上田法衣佛具店</b></p> <p>〒604-10913 京都市中京区河原町二条西入上ル TEL (075) 221-1334 FAX (075) 211-1858</p>	<p style="text-align: center;"><b>土山印刷株式会社</b></p> <p>〒601-18308 京都市南区吉祥院向田東町14 TEL (075) 312-1321 FAX (075) 313-8521 www.tsuchiyama.co.jp</p>



**醍醐寺開創1150年慶讃事業義納金について**

今般の義納金は、醍醐寺開創以来1150年に亘って受け継がれてきた法流伝承の象徴として「法流の杜」を整備するための大切なものです。

詳細はお手元のパンフレットをご確認いただき、是非お早目の納入をお願いいたします。

ご不明点は宗務本庁までお問い合わせください。

**[お問い合わせ] 宗務本庁 TEL: 075-571-0002**

まんとうえ  
**8月5日 醍醐寺 万灯会**

**奉納提灯のご案内**

ご奉納者(寺院・企業・個人等)のお名前  
境内に提灯を献灯いたします。

- ・ご奉納料 1灯 5,000円
- ・設置期間 7月下旬～8月16日頃
- ・申込締切 7月10日
- ※万灯会当日のお申し込みはできかねます
- ・申込方法  
ホームページに掲載している申込書に必要事項をご記入の上、郵送、FAXもしくは醍醐寺事務所にてお申し込みください。

